

平成31年度全国学力学習状況調査の結果

毎年4月に、6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されています。今年度は基礎的な知識・技能の定着状況を見るA問題、知識・技能を実社会で活用する力を見るB問題という分け方から国語と算数ともにABまとめて行うものになりました。全国・全道平均と比較しながら本校の結果を分析し、児童の傾向についてお知らせします。9月にお渡しした「個人票」と合わせてご覧ください。また、生活習慣や学習環境等に関する児童への質問紙調査についての傾向もお知らせします。

教科に関する調査・質問紙調査から見られる6年生の傾向と授業改善

（１）国語

＜特によくできていた問題＞

- ①文意を理解し正しい接続語を用いる問題
- ②目的に応じて本や文章全体を概観し効果的に読む問題
- ③話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開にそって質問したり、自分の考えをまとめたりする問題
- ④目的に応じて質問を工夫する問題
- ⑤ことわざの意味を理解し、活用する問題



＜課題の見られた問題＞

- ⑥伝える内容や目的に応じた図表やグラフを選ぶ問題
- ⑦ある物の使い方や持ちようについての報告文を読み、どのような工夫がされているのか判断する問題
- ⑧理由を明確にし、目的や条件に応じながら自分の考えをまとめて書く問題

＜分析＞

国語については、平均正答率は全国・全道平均を超えておりましたが、領域別に見ていきますと、「書くこと」についての領域に課題が見られました。（⑥～⑧）

⑥や⑦については、国語の学習のみならず、調べたことをわかりやすく文章にまとめたり、効果的に図やグラフを用いて表現したりする活動は社会や総合の教科においても必要な力であり、教科横断的に身に付けていく必要があります。⑧では、全ての条件を満たした記述ができないと正答とならない問題で条件を満たしていない記述が多く見られました。問題から提示された条件とは、関係資料2つから言葉や文を取り上げて書くこと、報告文にふさわしい表現で書くこと、40字～70字で書くことなどです。日常の学習場面では、あまり条件を提示して書くような場面が少ないため、不慣れな面も影響していると思われます。

＜改善＞

- ・調べ学習を見直しています。（資料の見方・傾向の読み取り、活用法、まとめ方について再確認）
- ・条件を設けた記述を授業の中で取り入れています。

（２）算数

＜特によくできていた問題＞

- ①図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成する問題
- ②小数や整数が混合した四則計算
- ③除法の計算の仕方を言葉で説明する問題

＜課題の見られた問題＞

- ④グラフから特徴や傾向を読み取る問題
- ⑤場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する問題

＜分析＞

算数については全ての領域の平均正答率が全国・全道を超えています。四則計算の基礎が身に付いている子が多いので、解き方を理解し立式できると更に、点数の向上につながります。また自分の考えを文章で表現できる子が多かったのは、自分の考えを友達に説明したりノートに書き表したりする授業の積み重ねから得られた結果だと考えられます。

ただ問題別に見ると④は正答率は高かったものの、全国や全道の平均正答率には達しておらず、もう少し時間を掛けて確認する必要があります。⑤は多くの小学生が苦手とする「単位量あたりの大きさ」を求める問題です。苦手意識の強い分野であり、更に長文問題だったことで、正答率が少し下がったと思われます。

＜改善＞

- ・グラフの読み取りについて再度復習しています。
- ・「単位量あたりの大きさ」については、6年生の総まとめで更に復習したり、宿題プリント通して確認したりしています。

（３）質問紙

＜良好と思われる傾向＞

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- ・家で計画を立てて勉強している
- ・新聞を読んでいる
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思ったりする
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・国語の授業はよくわかる
- ・算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う。
- ・算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考える など

＜改善が必要と思われる傾向＞

- ・家の人と（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている
- ・人が困っているときは、進んで助けている
- ・授業時間以外（休み時間、放課後、学校が休みの日）に読書をしている



【家庭では、引き続き望ましい環境づくりをお願いします】

全国的にも全道的にも「基本的な生活習慣や家庭学習環境が身に付いている」「規則や決まりを守ろうとしている」「ものごとに前向きに取り組もうとする」「他の人々のことを考えようとする」児童ほど学力が高いという傾向にあります。また、「読書意欲が高い」児童は読解力もよく伸びています。

よりよい生活習慣や家庭学習習慣を身に付けるためには、次の点については是非家庭でのご協力をお願いします。

- ・毎日、決められた時刻に起きたり寝たりといった生活リズムを整える
- ・家庭学習、読書時間の確保
- ・ゲームやスマホ等利用のルールづくり